

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動



- 令和6年1月1日16:10頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生
- 同日、防衛大臣指示の直後、16:30以降、自衛隊において自主派遣による航空偵察等により、情報収集を開始
- 同日、16:45、知事から陸上自衛隊第10師団長に対して災害派遣を要請



霞目駐屯地を離陸する東北方面航空隊のヘリ



八尾駐屯地を離陸する中部方面ヘリコプター隊のヘリ



F-15による被害状況偵察（千歳基地ほか）



明野駐屯地を離陸する第10飛行隊のヘリ



木更津駐屯地を離陸する第1ヘリコプター団のヘリ

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動



- 発災直後には、**航空自衛隊輪島分屯基地**において、
  - ⇒津波警報の発表を受けた1千人程度の避難者を受入し、必要物資を配布
  - ⇒基地付近の倒壊ビルにおいて、要救助者の救助活動を夜を徹して実施



**当日、輪島分屯基地にいた隊員は40人程度  
分屯基地も甚大な被害を受けたが、避難者保護や救助活動を実施**



# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動（人命救助）



- 発災翌日には、陸上自衛隊中部方面總監を長とする**統合任務部隊(JTF)※**を編成
  - ⇒発災から72時間を念頭に、昼夜を問わず懸命の人命搜索救助活動を実施
  - ⇒陸地からアクセスが困難な孤立集落に対して、ヘリによる空中機動力を積極的に活用



陸自第35普通科連隊による救助活動



陸上での搜索活動（夜間）



孤立地域からの急患空輸



孤立集落へ着陸する救難隊ヘリ



輪島朝市地域の搜索活動



孤立集落の被災者を輸送する救難隊ヘリ



空自人員搜索犬による搜索活動



陸自第35普通科連隊による救助活動

※統合任務部隊（JTF）

陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊の指揮系統を一本化し、迅速な活動につなげる。（自衛隊法第22条）

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動（物資輸送）



○水・食料などの支援物資を広域物資輸送拠点からヘリや車両にて二次拠点に輸送  
(プッシュ型支援)

○更に、市町の二次拠点から避難所等へのラストワンマイルも実施。孤立集落にも輸送



支援物資の集積拠点における陸自車両への積入れ



海自SH-60による支援物資輸送



輸送先における支援物資の配布



リュックに物資を入れて徒歩で前進



プッシュ型支援積み込みの様子（石川県産業展示館）



「おおすみ」にて陸自CH-47への支援物資の搭載



孤立地域への支援物資搬送



珠洲市内の孤立地域への物資輸送

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動（避難支援）



○能登空港等を使用し、自衛隊の輸送力により、**孤立集落等からの被災者の輸送を実施**  
⇒1月19日には、孤立集落が実質的に解消



2次避難者を乗せ離陸する空自C-2



西保地区における2次避難支援



空自C-2による2次避難支援



空自C-2による2次避難支援



マリンタウンにおける輪島市大屋地区の住民を  
中部方面航空隊CH-47ヘリまで誘導

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動（道路啓開）



- 陸上自衛隊の施設部隊が昼夜を問わず作業を実施。短期間で大型車の通行が可能に
- 国道249号の砂丘の海岸部に、重機を搭載した海上自衛隊のエアクッション艇(LCAC)がビーチングし、ところどころ分断された道路を内側から広げたことで道路啓開が大きく加速



珠州市大谷町における道路啓開



夜間の道路啓開作業



輸送艦「おおすみ」から発進するLCAC



道路啓開作業



陸自による道路啓開活動



ビーチングしたLCACからの重機やトラックの進出

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動（生活支援）



- 発災後、断水状態だった被災市町において**生活に欠かせない給水支援を実施**
  - 炊き立てのご飯や味噌汁、手作りのおかずなど、**温かい食事を提供する給食支援を実施**
  - 発災以来の汗や汚れを流し、**厳冬の被災地で身体を温めてもらう入浴支援を実施**
- ⇒現在も、被災市町で生活支援活動を継続中



陸自による給水支援



陸自による給食支援



陸自による入浴支援



空自による給水支援



海自による炊き出し



空自第6航空団による給食支援（七尾小学校）



入浴支援（七尾市中島小学校）

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動（その他）



- 民間船舶を借り上げ、避難者や応援職員等の休憩施設等として開設
- 医官や看護官等による衛生支援チームが、被災者に巡回診療を実施
- 避難所等において、被災者の心情に寄り添った曲目による慰問演奏会を開催



「はくおう」七尾港に入港



孤立地域における巡回診療



陸自音楽隊による慰問演奏



「はくおう」による支援



一時休養施設として活動する「はくおう」



空自による訪問診療



空自音楽隊による慰問演奏



# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動（省庁との連携）



- 発災直後、内閣府調査チームの石川県への輸送、消防や警察などの応援部隊の輪島市・珠洲市内への輸送を支援
- 緊急消防援助隊の車両を入間基地から輸送機で小松基地に空輸
- 国土交通省が準備した重機をエアクッション艇（L C A C）により海から揚陸



護衛艦「あさぎり」搭載機による消防隊員の輸送



消防高度救助車の輸送



国土交通省の重機等を揚陸



海自艦艇「あさぎり」による消防隊員輸送



警察・消防と連携した搜索活動



陸自によるDMATの輸送支援



DMATと連携した患者搬送

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動



○道路の寸断により能登半島先端部に陸路からのアクセスが困難。被災市町の複数ある港への接岸可否が不透明な中、**地理的特性を踏まえたオペレーションを実施**

⇒可及的速やかに部隊を能登半島に移動させるため、**空中機動力を最大限に発揮**

⇒能登半島沖合にて艦艇による被災地支援のための**洋上拠点となるシーベーシングを構築**



陸自中部方面航空隊による輸送支援



空自ヘリによる避難者の搬送



海自輸送艦へのヘリ着艦



輪島沖の艦艇部隊 多用途支援艦「ひうち」



護衛艦「せんだい」

主な航空偵察(18機)	
陸	東方航空隊(立川)UH-1×1(ヘリ映伝)、第1ヘリコプター団(木更津)CH-47×2及びLR-1×1、第3飛行隊(八尾)UH-1×1、中方航空隊(八尾)UH-1×2(ヘリ映伝)、東北方航空隊(仙台)UH-1×1
海	第4航空群(厚木)P-1×1、第23航空隊(舞鶴)SH-60×1、第2航空群(八戸)P-3C×1
空	第2航空団(千歳)F-15×2、第5航空団(新田原)F-15×2、第8航空団(築城)F-2×2、百里救難隊(百里)U-125A×1

出典：防衛省公表資料 (R6. 1.2)

# 令和6年能登半島地震における自衛隊の活動（活動実績）



令和6年2月18日まで

人命救助：救助 約1,040名

衛生支援：診療 約660名、患者搬送 約720名

輸送支援：糧食 約3,850,000食、飲料水 約2,054,000本  
毛布 約19,000枚、燃料 約192,000L など

給食支援：約163,000食

入浴支援：約209,000名

「はくおう」利用者：約2,000名

道路啓開：国道249号及び県道七尾輪島線、宇出津町野線、折戸飯田線、  
内浦柳田線、五十洲亀部田線、高屋出田線 等の一部区間

※引き続き、自衛隊は、1万人態勢により、

給水支援(42カ所)、給食支援(23カ所)、入浴支援(16カ所)を実施中(2月18日現在)

**発災直後からこれまでの、自衛隊による様々な支援活動に、心から感謝いたします。**

**木原防衛大臣は2月2日の会見で、**

**「いまだに避難生活を余儀なくされている被災者の方々の生活の基盤が構築できるよう、自衛隊は、被災者の、あるいは被災地のニーズを踏まえて、必要な規模をもって給水支援、給食支援、入浴支援、物資輸送などの震災対応に今後も当たってまいります。**

**そして新たなニーズが生じた場合にも柔軟に対応を実施すること  
に変わりはなく、引き続き、被災者の皆様に寄り添った支援を全力  
で実施してまいります。」と発言されており、心より感謝申し上げます。**